

海中だより

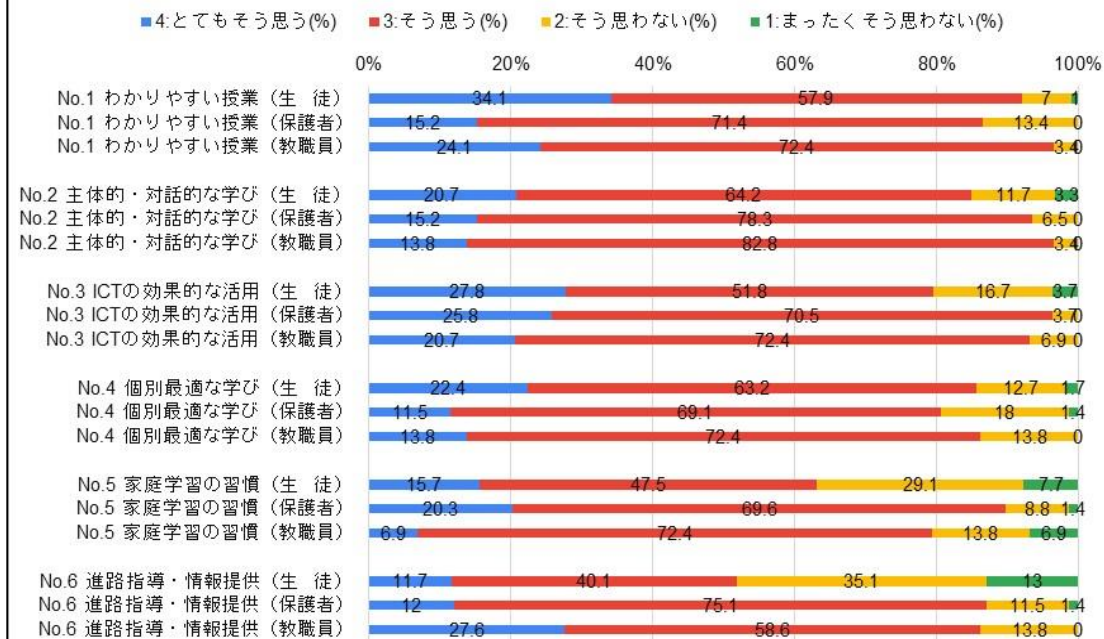
「夢」「チャレンジ」「仲間」

海中便り第492号
常総市立水海道中学校
令和8年9月1日発行
責任者 袖山 文広

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました！

7月に実施しました学校評価アンケートの結果をまとめました。今回の結果を真摯に受け止め、さらなるより良い学校を目指して教職員一同、学校教育活動の充実に励んでいきたいと思いをします。引き続き、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

確かな学力

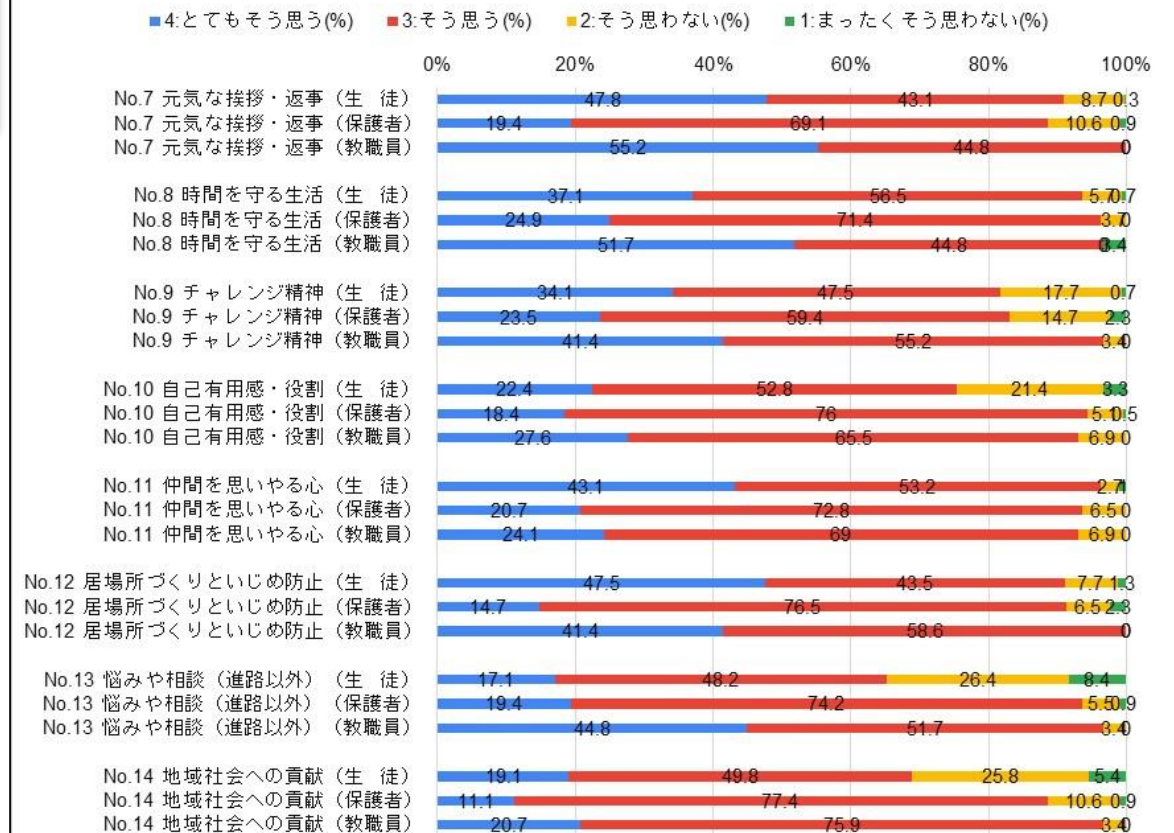


「No.1 わかりやすい授業」、「No.2 主体的・対話的な学び」、「No.3 ICTの効果的な活用」、「No.4 個別最適な学び」は三者(生徒、保護者、教職員)ともに8~9割以上と高い肯定的評価が見られました。教職員が教材研究にしっかりと行い、授業の中で生徒が真剣に取り組んでいる様子がうかがえます。引き続き、一時間一時間の授業を大切に、生徒の基礎学力向上に向けて、研鑽していきます。

一方、「No.5 家庭学習の習慣」では、生徒の肯定的回答が63.2%となっており、保護者や教職員との差も見られます。確かな学力の定着には、授業と授業をつなぐための家庭学習が必要となります。家庭学習の必要性を考え、自ら主体的に取り組めるよう、声をかけていきたいと思いをします。ご家庭での声かけや励ましも、よろしくお願いいたします。

「No.6 進路情報・情報提供」では、生徒の肯定的回答が51.8%でした。このグラフでは見ませんが、学年ごとに算出すると、学年が上がるにつれて肯定的回答が増える傾向にあります。3年生になると進路への意識も高く、自分で調べたり先生に相談したりしているようです。総合的な学習の時間等を活用しながら、キャリア教育・進路指導の充実を図っていきます。

豊かな心

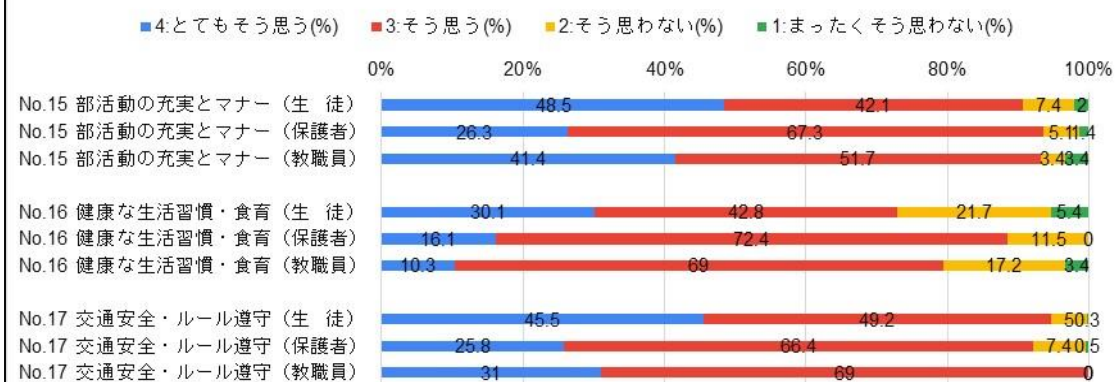


「No.7 元気の挨拶・返事」、「No.8 時間を守る生活」、「No.9 チャレンジ精神」、「No.11 仲間を思いやる心」、「No.12 居場所づくりといじめの防止」は肯定的回答が高い結果となりました。学校でもご家庭でも声かけ等を継続することで、生徒の生活への高い意識を継続させていきたいです。「いじめの防止」に関しましては、法律上でとらえるいじめについて、水海道中でも認知を積極的に行っております。一定の人間関係がある中で起こるトラブルに対して、どう対処すれば良いか等、指導、支援をしていきます。しかし、いじめが起こらないことが一番です。SNSのマナー等も含め、道徳の授業等でも思いやりや対人関係について考える機会をつくり、人権意識の啓発を図っていきます。

「No.10 自己有用感・役割」は、生徒の肯定的回答が75.2%となっており、保護者や教職員との差が見られました。係や委員会活動、また、部活動での役割などにしっかりと取り組める生徒が多いのですが、「人の役に立っている」と実感している生徒は4分の3ほどです。行事や係活動、グループ学習で個々の貢献が実感できる役割設定や、認める場(感謝の気持ちを伝える、頑張りを褒めるなど)を増やし、自己有用感の育成に努めます。

「No.13 悩みや相談(進路以外)」、「No.14 地域社会への貢献」ではその他の項目より生徒の肯定的回答が低い傾向が見られました。「悩みや相談」については、自分たちで解決しようとする力がついてきている面もありますが、教育相談体制の充実を図り、相談しやすい雰囲気づくりも行っていきます。校内のオンライン相談窓口やスクールカウンセラーの活用なども周知していきます。「地域社会への貢献」では、資源回収やボランティア活動への積極的な参加を呼びかけていきます。また、登下校中の地域の方への挨拶等も、温かい地域づくりには不可欠です。人と人とのつながりを大切にしている生徒を育成していきます。

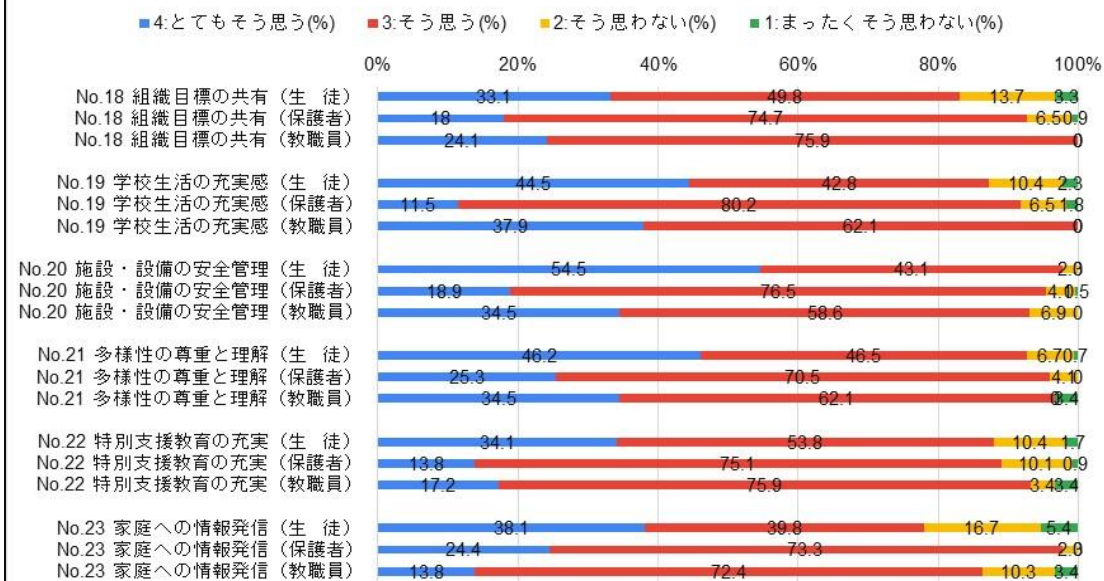
健やかな体



「No. 15 部活動の充実とマナー」、「No. 17 交通安全・ルール遵守」では、三者ともに肯定的回答が90%前後となっており、高い結果が得られました。「交通安全」においては、特に「自分の命は自分で守る」ことを念頭に置き、左右確認や一時停止など、交通ルールの遵守を徹底させていきます。自分自身が気をつけていても、事故に遭ってしまうこともあります。そのようなことも想定しながら、気持ちに余裕のある自転車走行を呼びかけていきます。ご家庭でも、引き続き、声かけ等のご協力、よろしくお願いいたします。

「No. 16 健康な生活習慣・食育」では、生徒の肯定的回答が72.9%となり、特に保護者との差が大きく開きました。「好き・嫌いなく食べること」や「睡眠時間」を問う項目だったのですが、本校の保健室来室生徒の様子を聞くと、「夜遅くまで起きていて朝食をあまり食べられなかった」などで体調不良を訴える生徒も少なくありません。そこにはSNSやゲームなども関係あるようです。健康的な生活を送るためにも、食育や睡眠時間を考えることは大切です。それらの大切さや必要性が感じられるような学活や関係する教科の学習内容の工夫を行い、改善できるように努めていきます。

安全・安心な学校



「No. 18 組織目標の共有」、「No. 19 学校生活の充実感」、「No. 20 施設・設備の安全管理」、「No. 21 多様性の尊重と理解」、「No. 22 特別支援教育の充実」では、三者共に80%以上の肯定的回答が得られました。引き続き、安全・安心な学校づくりに取り組んでいきます。

「No. 23 家庭への情報共有」では、生徒の肯定的回答が77.9%となりました。「学校での出来事を家の人と話している」という質問項目でしたが、「とてもそう思う」と回答した生徒の割合も高いことが読み取れます。思春期に入り、小学生の頃より…ということもあるかと思いますが、生徒、保護者、教職員間での情報共有を図っていけるよう、学校からも情報発信していきます。

【記述より】（一部抜粋）

○トイレを和式から洋式にして欲しい→市教育委員会から改修工事の連絡が来ていますが、なかなか要望通りにならないことも現状です。

○アンケートに「わからない」という選択肢がほしい→ありがとうございます。次回に生かします。

○2学期制になり、テスト等の日程が従前と変わりましたが、部活の予定は従前どおりのままです。テスト直前に部活があり、テスト勉強に支障をきたしています。日程改善の検討をお願いします。→大会前等でそのようなこともあったかもしれません。生徒の勉強時間の確保もしていきます。

○定期テストの個票がもう少し早く出して頂けると、子どものモチベーションが上がるかなと思います。お忙しいところ申し訳ありませんが、可能であれば宜しくお願いします。→成績に関わる大事なテストですので、採点や入力などは慎重に行っております。早く渡してあげたい気持ちもありますが、ご理解いただきたいと思います。

○情熱的に接していただいただけ先生もいる中で、人権を無視する様な発言をされた先生がいますと、聞きました。学校が安全な場所でなくなっていったら、子供達は、どうなるか？指導する際には、適切な言葉を選んで発言いただきたい。→申し訳ございませんでした。教職員一同、人権意識をもって指導、支援していきます。お気づきの点がございましたら、学校にお知らせください。

○部活動に入っていない生徒が陸上に参加する際、部活動加入者扱いと同じで後援会を全額集金するというのは話が違うのではないかと思います。部活加入者の親が思うので、未加入者の親からしたら子供が参加したくても陸上参加を考えるようになるんじゃないかと感じました。→部活動後援会費は、大会等のバス代に使わせていただいております。過去には、優秀な成績故に足りなくなることもあったようです。陸上の大会でもバスを借用しておりますので、今年はこのような形をとらせていただきました。ご理解いただけると幸いです。

○登下校の自転車の交通ルールを今一度指導していただけるとありがたいです。→今年度は交通安全教室の実施や、学活で交通安全の授業を行うなど、交通ルール遵守には力を入れております。また、立哨を行ったり、帰りの会で呼びかけたりもしておりますが、地域の方からの厳しいお電話や接触事故が続いているのも現状です。引き続き命に関わる大切なルールについて指導してまいります。ご家庭でもルールを守ることの大切さを話題にしていいただければと思います。

その他、感謝の気持ちを伝えてくださる記述もありました。ありがとうございます。

○いつも笑顔で子供達に接して下さっている姿を見ていて安心して学校へ送り出せます。ありがとうございます。

○クラブチームへのご理解をいただき、壮行会にもご紹介くださって、校長先生はじめ、先生方、本当にありがとうございました。大会でも、海中の子供達と保護者の方々がクラブチームの応援をしてくださったり、クラブの子供達が反対に海中の応援をしている姿をみて、同じ海中生、保護者として、とても心温まる光景でした。

○何かがあるとすぐにご連絡いただきいつもありがとうございます。